

掛川市告示第112号

掛川市建築基準法施行細則（平成19年掛川市規則第33号）第9条第1項の規定により市長が別に定める検査書は、次の表の左欄に掲げる区分に応じ、同表の右欄に掲げる様式の検査書とし、平成20年4月1日から施行する。

昇降機の種類	検査書の様式
ロープ式エレベーター	様式第1号
油圧式エレベーター	様式第2号
エスカレーター	様式第3号
小荷物専用昇降機	様式第4号

平成19年12月21日

掛川市長 戸塚進也

様式第 1 号

(表面)  
ロープ式エレベーター検査書

整理番号			検査年月日	年 月 日			
建築名	第 号機						
用途	乗用・人荷・荷物・寝台・自動車	電動機容量	kw	積載荷重 最大定員	N 人		
定格速度	1 分間につき m	実測速度	上昇 下降	1 分間につき 1 分間につき	m m		
調 速	かご側調速機		釣合おもり側調速機				
	形 式		鍾 ・ 球				
機 試 験	過疎スイッチ作動速度	1 分間につき (底角速度の %)	m %	良・否	1 分間につき (底角速度の %)	m %	良・否
	キャッチ作動速度	1 分間につき (底角速度の %)	m %	良・否	1 分間につき (底角速度の %)	m %	良・否
非 常 止 め 試 験			かご側非常止め		釣合おもり側非常止め		
	形 式		早ぎき式・次第ぎき式		早ぎき式・次第ぎき式		
	作動状態		良 ・ 否		良 ・ 否		
	レールの状態		良 ・ 否		良 ・ 否		
	非常止めロープの巻残り (WC)		良 ・ 否		良 ・ 否		
	非常止めロープの巻取り状態 (WC)		良 ・ 否		良 ・ 否		
	ガバナーロープの状態		良 ・ 否		良 ・ 否		
絶 縁 抵 抗 測 定	測 定 回 路			絶 縁 抵 抗 値			
	発・電動機主回路 (300V以下・300Vを超えるもの)			MΩ 良・否			
	制御回路 (150V以下・150Vを超え300V以下)			MΩ 良・否			
	信号回路 (150V以下・150Vを超え300V以下)			MΩ 良・否			
	照明回路 (150V以下・150Vを超え300V以下)			MΩ 良・否			
特 記 事 項	No.	内 容					
保守会社名 (又は設備管理責任者の住所及び氏名)							
昇降機 検査責任者		認定番号 (第 号)		氏名 電話番号			

(裏面)

点検の結果を、状態A（良好）、B（要注意）、C（要修理又は緊急修理）の区分に従い記号（アルファベット）を○で囲む。状態が、B又はCの場合は特記事項の欄に注記すること。

なお、非該当項目は二重線で消すこと。

No.	検査項目・装置		状 態	No.	検査項目・装置		状 態
1	機械室		—	3.13	釣合おもり側非常止め装置		A. B. C
1.1	機械室への通路・出入口戸		A. B	3.14	釣合おもりのつり車		A. B. C
1.2	機械室内の照明・換気・整備		A. B. C	3.15	上部ファイナルリミットスイッチ		A. C
1.3	手巻ハンドル等		A. B	3.16	乗場の戸及び敷居		A. B. C
1.4	受電盤・制御盤		A. B. C	3.17	ドアインターロックスイッチ		A. C
1.5	階床選択機		A. B. C	3.18	ドアクローザー		A. B
1.6	巻上機	減速歯車	A. B. C	3.19	移動ケーブル及び取付部		A. B. C
1.7		綱車（巻胴）	A. B. C	3.20	昇降路周壁		A. B. C
1.8		軸受け	A. B. C	3.21	昇降路内の耐震対策		A. B. C
1.9		ブレーキ	A. B. C				
1.10	そらせ車		A. B. C	4	乗場		—
1.11	電動機		A. B. C	4.1	乗場ボタン及び表示器		A. B. C
1.12	電動発電機		A. B. C	4.2	光電装置等		A. C
1.13	調速機	かご側	A. B. C	4.3	非常開錠装置		A. B. C
1.14		釣合おもり側	A. B. C	4.4	三方枠及び乗場の戸		A. B. C
1.15	主索の緩み検出装置		A. B. C				
1.16	機械室機器の耐震対策		A. B. C	5	ピット		—
				5.1	緩衝器		A. B. C
2	かご室		—	5.2	ガバナーロープ用及びその他の張り車		A. B. C
2.1	かご室の周壁・天井及び床		A. B. C	5.3	ピット床		A. B. C
2.2	かごの戸及び敷居		A. B. C	5.4	下部ファイナルリミットスイッチ		A. C
2.3	かごの戸のスイッチ		A. C	5.5	かご非常止め装置		A. B. C
2.4	戸閉めの安全装置		A. B. C	5.6	非常止めロープ		A. B. C
2.5	車止め・光電装置等		A. C	5.7	かご下綱車		A. B. C
2.6	かご操作盤及び表示器		A. B. C	5.8	釣合ロープ（鎖）及び取付部		A. B. C
2.7	外部への連絡装置		A. B. C	5.9	釣合おもり低部すき間		A. B. C
2.8	停止スイッチ		A. C	5.10	移動ケーブル及び取付部		A. B. C
2.9	用途・積載量・定員の標示		A. B	5.11	はかり装置		A. B. C
2.10	停電灯装置		A. C	5.12	ピット内の耐震対策		A. B. C
2.11	各階強制停止装置		A. C				
2.12	かご床先と昇降路壁との水平距離		A. C	6	非常用エレベーター		—
				6.1	かご呼び戻し装置		A. C
3	かご上		—	6.2	一次消防運転		A. C
3.1	非常救出口		A. B. C	6.3	二次消防運転		A. C
3.2	戸の開閉装置		A. B. C	6.4	非常標識及び表示灯		A. B. C
3.3	錠外し装置		A. B. C	6.5	予備電源		A. C
3.4	かご上安全スイッチ		A. C				
3.5	かごつり車		A. B. C	7	その他		—
3.6	かご非常止め装置		A. B. C				
3.7	ガバナーロープ		A. B. C				
3.8	かごのガイドシュー（ローラー）		A. B. C				
3.9	主索及びその取付部		A. B. C				
3.10	はかり装置		A. B. C				
3.11	ガイドレール・ブラケット		A. B. C				
3.12	釣合おもり各部		A. B. C				

(表面)  
油圧式エレベーター検査書

整理番号				検査年月日	年	月	日
建築名	第 号機						
用途	乗用・人荷・荷物・寝台・自動車			電動機容量	kw	積載荷重 最大定員	N 人
上昇定格速度	1分間につき m			実測速度	上昇 1分間につき m		
下降定格速度	1分間につき m				下降 1分間につき m		
油圧方式	直接式	常用圧力 Mpa	間接式	安全弁の作動圧力 Mpa (常用圧力の %)			
	安全弁の作動状態		戸開き状態で作動する予圧装置			良・否	
	良・否		戸開き状態で作動する再床合わせ装置			良・否	
調速機試験	形式		( 錘 ・ 球 )				
	加速スイッチ作動速度		1分間につき m (下降定格速度の %)			良・否	
	キャッチ作動速度		1分間につき m (下降定格速度の %)			良・否	
非常止め装置	形式		早ぎき式・次第ぎき式		スラックロープ式		
	作動状態		良・否		良・否		
	レールの状態		良・否		良・否		
	かごの水平度		良・否		良・否		
	ガバナーロープの状態		良・否				
絶縁抵抗測定	測定回路				絶縁抵抗値		
	電動機主回路 (300V以下・300Vを超えるもの)				MΩ 良・否		
	制御回路 (150V以下・150Vを超え300V以下)				MΩ 良・否		
	信号回路 (150V以下・150Vを超え300V以下)				MΩ 良・否		
	照明回路 (150V以下・150Vを超え300V以下)				MΩ 良・否		
特記事項	No.	内 容					
保守会社名 (又は設備管理責任者の住所及び氏名)							
昇降機 検査責任者		認定番号 (第 号)			氏名 電話番号		

(裏面)

点検の結果を、状態A（良好）、B（要注意）、C（要修理又は緊急修理）の区分に従い記号（アルファベット）を○で囲む。状態が、B又はCの場合は特記事項の欄に注記すること。

なお、非該当項目は二重線で消すこと。

No.	検査項目・装置	状態	No.	検査項目・装置	状態	
1	機械室	—	3.9	ガイドレール・ブラケット	A. B. C	
1.1	機械室への通路・出入口戸	A. B	3.10	上部リミットスイッチ	A. C	
1.2	機械室内の照明・換気・整備	A. B. C	3.11	乗場の戸及び敷居	A. B. C	
1.3	受電盤・制御盤	A. B. C	3.12	ドアインターロックスイッチ	A. C	
1.4	空転防止装置	A. C	3.13	ドアクローザー	A. B. C	
1.5	階床選択機	A. B. C	3.14	プランジャー頂部綱車（鎖車）	A. B. C	
1.6	油圧 パワ ー ユ ニ ット	電動機・ポンプ	A. B. C	3.15	プランジャー	A. B. C
1.7		圧力計	A. B. C	3.16	プランジャーストッパー	A. C
1.8		安全弁	A. B. C	3.17	プランジャーリミットスイッチ	A. C
1.9		逆止弁	A. C	3.18	シリンダー	A. B. C
1.10		流量調整弁	A. B. C	3.19	頂部安全距離確保スイッチ	A. B. C
1.11		手動下降弁	A. B. C	3.20	移動ケーブル及び取付部	A. B. C
1.12		油圧タンク・油圧	A. B. C	3.21	昇降路周壁	A. B. C
1.13	圧力配管・高圧ゴムホース	A. B. C	3.22	昇降路内の耐震対策	A. B. C	
1.14	機械室機器の耐震対策	A. B. C				
1.15	消火設備・火気厳禁の標示	A. C	4	乗場	—	
1.16	機械室機器の耐震対策	A. B. C	4.1	乗場ボタン及び表示器	A. B. C	
			4.2	光電装置等	A. C	
2	かご室	—	4.3	非常開錠装置	A. C	
2.1	かご室の周壁・天井及び床	A. B. C	4.4	三方枠及び乗場の戸	A. B. C	
2.2	かごの戸及び敷居	A. B. C				
2.3	かごの戸のスイッチ	A. C	5	ピット	—	
2.4	戸閉めの安全装置	A. B. C	5.1	緩衝器	A. B. C	
2.5	床合わせ補正装置	A. C	5.2	張り車	A. B. C	
2.6	再床合わせ装置	A. C	5.3	ピット床	A. B. C	
2.7	ドアゾーン行き過ぎ制限装置	A. C	5.4	下部リミットスイッチ	A. C	
2.8	車止め・光電装置等	A. C	5.5	かご非常止め装置	A. B. C	
2.9	かご操作盤及び表示器	A. B. C	5.6	かご下綱車	A. B. C	
2.10	外部への連絡装置	A. B. C	5.7	移動ケーブル及び取付部	A. B. C	
2.11	停止スイッチ	A. C	5.8	はかり装置	A. B. C	
2.12	用途・積載量・定員の標示	A. B	5.9	ピット内の耐震対策	A. B. C	
2.13	停電灯装置	A. C	5.10	プランジャー	A. B. C	
2.14	各階強制停止装置	A. C	5.11	プランジャーストッパー	A. C	
2.15	かご床先と昇降路壁との水平距離	A. C	5.12	シリンダー	A. B. C	
			5.13	シリンダー下部綱車	A. B. C	
3	かご上	—	5.14	調速機	A. B. C	
3.1	非常救出口	A. B. C	5.15	主索（鎖）の緩み検出装置	A. B. C	
3.2	戸の開閉装置	A. B. C	5.16	主索（鎖）及びその取付部	A. B. C	
3.3	錠外し装置	A. B. C				
3.4	かご上安全スイッチ	A. C	6	その他	—	
3.5	かごのガイドシュー（ローラー）	A. B. C				
3.6	主索（鎖）及びその取付部	A. B. C				
3.7	調速機	A. B. C				
3.8	ガバナーロープ	A. B. C				

エスカレーター検査書

整理番号				検査年月日	年 月 日
建築名				第	号機
電動機容量	kw	輸送能力1時間につき	人	定格速度1分間につき	m
速度・絶縁抵抗測定	上昇1分間につき	m	下降1分間につき	m	絶縁抵抗値
	電動機主回路 (300V以下・300Vを超えるもの)			MΩ 良・否	
	制御回路 (150V以下・150Vを超え300V以下)			MΩ 良・否	
	信号回路 (150V以下・150Vを超え300V以下)			MΩ 良・否	
	照明回路 (150V以下・150Vを超え300V以下)			MΩ 良・否	

点検の結果を、状態A（良好）、B（要注意）、C（要修理又は緊急修理）の区分に従い（アルファベット）を○で囲む。状態が、B又はCの場合は特記事項の欄に注記すること。  
 なお、非該当項目は二重線で消すこと。

No.	検査項目・装置	状態	No.	検査項目・装置	状態
1	機械室	—	3.3	踏段鎖	A. B. C
1.1	機械室内	A. B	3.4	踏段レール	A. B. C
1.2	受電盤・制御盤	A. B. C	3.5	踏段とスカートガードのすき間	A. B. C
1.3	電動機	A. B. C			
1.4	ブレーキ	A. B. C	4	下部乗場	—
1.5	駆動機軸受・減速歯車	A. B. C	4.1	くし板	A. B. C
1.6	駆動鎖安全スイッチ及び非常ブレーキ	A. C	4.2	くし板と踏段のかみあい	A. B. C
1.7	踏段駆動装置	A. B. C	4.3	手すりガード	A. C
1.8	手すり駆動装置	A. B. C	4.4	非常停止ボタンスイッチ	A. C
			4.5	昇・降・起動スイッチ	A. B. C
2	上部乗場	—	4.6	警報・運転休止スイッチ	A. C
2.1	くし板	A. B. C	4.7	駆動鎖安全スイッチ	A. C
2.2	くし板と踏段のかみあい	A. B. C			
2.3	手すり	A. B. C	5	安全対策	—
2.4	手すりガード	A. B. C	5.1	スカートガードスイッチ	A. C
2.5	非常停止ボタンスイッチ	A. C	5.2	手すり入り込み口スイッチ	A. C
2.6	昇・降・起動スイッチ	A. B. C	5.3	落下防止柵・綱	A. B. C
2.7	警報・運転休止スイッチ	A. C	5.4	三角部ガード板	A. B. C
2.8	踏段面	A. B. C	5.5	踏段面注意標識	A. C
			5.6	防火シャッター等との連動停止	A. B. C
3	中間部	—			
3.1	内側板	A. B. C	6	その他	—
3.2	踏段ライザー	A. B. C			

特記事項	No.	内 容

保守会社名  
 (又は設備管理責任者の住所及び氏名)

昇降機 認定番号 氏名  
 検査責任者 (第 号) 電話番号

様式第4号

小荷物専用昇降機検査書

整理番号				検査年月日	年 月 日
建築名	第 号機				
タイプ	フローア・テーブル	電動機容量 kw	積載荷重 N	定格速度1分間につき m	
速度・絶縁抵抗測定	上昇1分間につき m	下降1分間につき m	絶縁抵抗値		
	電動機主回路 (300V以下・300Vを超えるもの)			MΩ 良・否	
	制御回路 (150V以下・150Vを超え300V以下)			MΩ 良・否	
	信号回路 (150V以下・150Vを超え300V以下)			MΩ 良・否	
	照明回路 (150V以下・150Vを超え300V以下)			MΩ 良・否	

点検の結果を、状態A (良好)、B (要注意)、C (要修理又は緊急修理) の区分に従い (アルファベット) を○で囲む。状態が、B又はCの場合は特記事項の欄に注記すること。

なお、非該当項目は二重線で消すこと。

No.	検査項目・装置	状態	No.	検査項目・装置	状態
1	機械室	—	3.2	上部リミットスイッチ	A. C
1.1	機械室への通路・室内	A. B			
1.2	受電盤・制御盤	A. B. C	4	各階出し入れ口	—
1.3	巻上機	ウォームギア	4.1	各階出し入れ口枠・戸	A. B. C
1.4		綱車	4.2	各階操作・信号装置	A. B. C
1.5		軸受	4.3	ドアスイッチ・ロック	A. C
1.6		ブレーキ	4.4	戸開放防止ブザー	A. C
1.7	そらせ車	A. B. C	4.5	ドアつりロープの取付け	A. B. C
1.8	電動機	A. B. C			
			5	最下階出し入れ口	—
2	かご室	—	5.1	下部リミットスイッチ	A. C
2.1	かご室の周壁・床	A. B. C	5.2	ピット床	A. B. C
2.2	積載量表示	A. B. C	5.3	釣合おもり底部すき間	A. B. C
2.3	乗用禁止の表示	A. B. C			
			6	その他	—
3	最上階出し入れ口	—			
3.1	主索・主索の取付け	A. B. C			
特記事項	No.	内 容			
保守会社名 (又は設備管理責任者の住所及び氏名)					
昇降機 検査責任者		認定番号 (第 号)		氏名 電話番号	